

## 新年のご挨拶

# 22 年に向けて「区民の旺盛な学習意欲に感謝」

代表理事 篠原 英也

## 新年あけましておめでとうございます



新年に当たり、当会の活動にご支援を頂いております足立区、足立区生涯学習センター、大学塾講師の皆様には感謝申し上げます。

本年も何卒宜しくお願い致します。

昨年もコロナ感染症で悩まれた一年でしたが、10 月より緊急事態宣言が解除され、大学塾も活動が再開されることとなり、12 月の 2 講座を含め 12 講座(令和 3 年度としては 8 講座)が開催されました。いずれの講座も多くの受講者に参加いただき、区民の旺盛な学習意欲に感謝し、やりがいを感じます。

コロナ禍の中、講座の中止や延期を繰り返しながら講座を開催していただきました運営スタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。10 月から感染者も激減しておりますが、ここに来て新しいコロナウイルス「オミクロン株」が国内でも確認され、また新たな脅威となっております。

- ・ 昨年 4 月より、メールによる講座申込を開始しました。直近では約半数の方がメールで申込を頂き、受講申込者の利便性を向上させることが出来ました。(メールアドレス [info@gakugaku.main.jp](mailto:info@gakugaku.main.jp))
  - ・ 昨年も 12 月に 2 名の新会員に入会いただきました。本年も会員の確保に注力したいと思います。
  - ・ 令和 4 年度の大学塾講座より受講料を改定致します。講師謝礼が時世に即さないこと、メールでの受講申込による運営経費のアップ等のため受講料の値上げをさせていただきます。
- 本年も元気で楽しく活動に参加いただきますよう皆様のご協力をお願いいたします。

代表理事 篠原 英也

## 新年のご挨拶 感染対策を取りつつ事業展開を目指す！

足立区 生涯学習センター所長 平野 昌暁

## 新年あけましておめでとうございます



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りいたします。

デルタ株が落ち着いてきたかと思っていた矢先に、オミクロン株が流行の兆しをみせています。まだまだ警戒が必要ですね。

生涯学習センターとしては、令和 4 年度については、以前と同じように事業を行う予定で、準備を進めています。感染対策を取りつつ、利用者、受講者に安心して楽しんでいただける事業展開を目指しております。あわせてこの 2 年間で培ったオンライン講座のノウハウもあわせ、受講者の選択肢を増やしより参加しやすい環境づくりも進めていきます。

貴会におかれましても、まずは皆様を含めた感染対策の徹底をお願いしつつ、独創的な事業を進めていただければと思います。

最後に楽学の会の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。  
足立区生涯学習センター 所長 平野 昌暁

## 2022 年に向けて **各部局長が語る新年の抱負！**

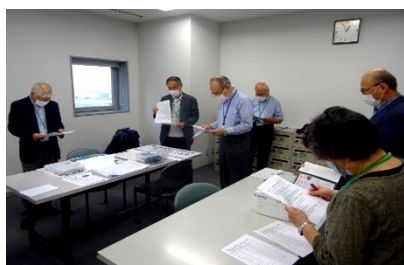
学習支援部・ボランティア活動推進部・事務局

### 令和4年「学習支援部」の抱負 学習支援部 部長 糸井 史郎 新年明けましておめでとうございます



令和4年の年頭にあたり、学習支援部の抱負を述べさせていただきます。この2年間はコロナの影響により、多くの講座が中止や延期をせざるを得ない状況となりました。幸い3年10月より、順調に講座が再開されましたので、4年度は延期された講座の開催と新企画の講座を組合せて、新鮮な構成で提供できるように、年間計画を立案中です。既に12月迄に前期講座（4～9月）は、講座名と日程を決定して頂きましたので、1～2月は後期講座（10～3月）の検討を進めて参ります。4年度は近現代文学・西洋絵画・映画などの分野にも挑戦をしてゆきたいと考えています。会員各位からの積極的な提案と参加をお願いします。

### “活動”の充実をめざして ボランティア活動推進部 部長 佐々木 善光



昨年のボランティア活動部の活動は、コロナの影響で実質的に9月からとなりました。今年度は、9月の月例会において、足立区生涯学習支援課長 西出 豊様と生涯学習センター副所長渡部 岳様からご講演を頂き、実質的には、令和3年度のスタートとなりました。コロナウイルス感染状況が1日も早く収まることを切に祈り、月例会を創意工夫して充実させていきたいと考えております。充実の観点はいろいろあると思いますが、私は、先輩方が実施されてきましたように、一歩外に出て様々な物事や情報などに触れることもその一つだと思っています。その事や情報等が、もしかしたなら講座として設定できたなら嬉しいことだと思っています。夢物語かもしれませんが、そのようなことが脳裏を駆け巡りました。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

### コロナの鎮静化でコミュニケーションの復活 事務局長 江川 武男



思えば、昨年、一昨年と新型コロナ騒ぎで大変な思いをし世の中がどうなってしまうのか、心配でした。当会も、講座の延期・中止を繰り返す事態となり大変な思いをしましたし、また新年会・忘年会等々会員のコミュニケーションも取れず、寂しい限りでした。今年こそは、コロナも沈静化し、日常を取り戻せるようになることを切に願っております。本年も元気に過ごしましょう！！皆様のご協力を、どうぞよろしくお願いします。

## 「日本書紀」編纂1300年 ～真偽を読み解く～



奈良時代、天武天皇の命により712年「古事記」、720年「日本書紀」が編纂されました。両書が編纂された背景や内容の差、神武天皇は実在したのか、卑弥呼や邪馬台国はどのように書かれているのか、聖徳太子は十七条憲法や冠位の十二階を制定したのか、大化の改新の背景など、近年研究されている諸説を読み解きます。

講師：榊原 金市 氏 当会会員・NPO 法人シニア大楽講師・歴史研究家  
日時：2月4・18・25日（金曜日）全3回 午後2時～4時  
会場：足立区生涯学習センター（学びピア21内）5階 研修室1

講義内容：第1回 神話時代、初代神武天皇、日本武尊 など  
第2回 卑弥呼と邪馬台国、仏教伝来、新羅戦争 など  
第3回 聖徳太子、大化の改新、天武天皇 など

## 足立の伝統工芸 篠笛と三味線の知識と演奏体験



江戸時代の足立区は、川運が発達していて、日光街道や千住宿の繁栄と同時に流通の拠点となっており、多くの職人が道具や工芸品を作っていました。その「匠の技」は21世紀の現代にも引き継がれています。足立区伝統工芸振興会の会員で江戸和笛と東京三味線を作り続けるお二人の名人技と演奏体験を楽しんでください。

※この講座は足立区産業振興課・足立区伝統工芸振興会との協創講座です。

第1回：2月12日（土曜日） 午後2時～4時  
内容：篠笛は祭囃子の華 ～独自の製造技術と演奏体験～  
講師：大塚 敦 氏 大塚竹管楽器・獅子田流笛師 四代目  
第2回：2月19日（土曜日） 午後2時～4時  
内容：三味線は舞台芸能の華 ～津軽三味線の迫力と演奏体験～  
講師：鈴木 裕一 氏 美鈴屋三味線店・創業120年 三代目

## 「わかりやすい 遺産相続と後見制度」

講師：弁護士で足立区出身の小出康夫氏。

11月19日・26日(金)の2回にわたり、コロナ対策を行って開催された。応募者は51名であった。受講者は43名で、第1回が41名・第2回が39名・累計80名であった。当初研修室4で30名募集の予定であったが、応募者が多く、センターに協力して頂いて講堂で開催された。



第1回は「遺産相続と遺言書の作成」で、相続・遺産・相続人・遺言・単純承認・限定承認・相続放棄など、遺産相続についての基本的な知識をわかり易く解説された。遺言書については、被相続人の生前の意思が最優先されるが、誰にどれだけ引き継がせるかは遺言書の内容に従って分けられる。ただし、法定相続人には「遺留分」がある。遺言書がない場合は「遺産分割協議」によって10か月以内に分け方が決定される。協議が合意できない場合は、家庭裁判所により調停調書が作成される。

第2回は「成年後見と任意後見」で、成年後見制度は認知症・知的障害・精神障害などで、判断能力の不十分な人の財産管理や身上保護などの法律行為が難しい場合に、不利益な契約を結んだり、悪質商法の被害に遭うことを防ぎ、法的保護や支援をする制度である。任意後見制度は判断能力があるうちに、判断低下に備えて、任意後見人にしてもらいたいことを契約で決めておく制度で、被後見人が自ら後見人を選ぶ。一方、法定後見人制度は本人の判断能力に応じて、「補助」「保護」「後見」など、類型によって後見人に与えられる権限や職務が異なる制度で、後見人は家庭裁判所が選任する。その他、民事信託についても紹介された。

受講者のご意見：素晴らしい講義内容でした。実務に詳しい先生のお話は、終始具体的で分かりやすく、法律に疎い私にもよく理解できました。またテキストは的確に簡潔に要点が記述されていて、ベテラン弁護士さんの「うんちく」が随所に見られて、唯々感服した次第です。これからも末永く法律知識の乏しい庶民の為に、ご多忙とは存じますが、今回のような公開講座に出講して下さいよう要望させていただきます。・弁護士としての立場からの意見がとても参考になった。今度は税理士の先生から実務的な話も聞きたい。“家族信託”についても詳しく知りたい。・相続に関しては、いずれ自分にも関係してくる問題なので、身近なこととして、関心をもって講座を聴きました。非常に参考になり、今後相続問題の発生した際に役立つものと、大変勉強になりました。ありがとうございます。など。

この講座はいつもと違う2つの特徴があった。まず第1は、アンケートの回収は34枚と非常に多かった。それだけ受講者に関心の高いテーマだったと思われる。第2は、受講者43名中女性が29名で67%であった。今年度は女性受講者の増加傾向が見られている。(糸井史郎)



# 令和3年12月 月例会 報告 (12月15日)

12月の月例会では、会員 榊原金市さん 河野信子さんにお話をして頂きました。

## 洋画鑑賞 映画をより面白く鑑賞するために!!



私の趣味は洋画鑑賞ですが、まず原題を調べて邦題との違いをチェックすることです。邦題は、日本に入ってくる時に、日本人に馴染みやすいように映画会社は邦題をつけて配給しています。面白いと思ったらノートにつけています。私のなかでのベストワンは1960年の作品、ジャックレモンの邦題＝アパートの鍵貸します。原題＝The apartment です。ビリー・ワイルダーの代表作ともいえるシチュエーションコメディ、ビリー・ワイルダーはこの作品で念願のアカデミー監督賞・作品賞など5部門を受賞しています。邦題のほうが遥に楽しそうですね、なんと上手な訳でしょう。その他私が楽しい面白いと思ったのをいくつか pick up してみました。

邦題＝アナと雪の女王 原題＝Frozen

「FROZEN」を直訳すると「凍結」のような意味となり、そのビジュアルに反して「ホラー映画かな？」原題と邦題は全く違うタイトルになります！邦題の「アナ雪」は感じの良い省略語で素晴らしいです。

邦題＝搭の上のラプンツェル 原題＝Tangled

この映画は、ディズニーの50番目の作品です。tangled は「絡まった」という意味があるので、ラプンツェルの絡まりそうな長い髪と彼女の不思議に絡まった人生を掛けてるんでしょう。

邦題＝天使にラブソング 原題＝Sister's act

この映画は、日本で大ヒットいたしました。Sister Act は、シスター、尼僧、修道女の出し物の意味。これも単なる直訳ではないタイトルであることが分かります！

邦題＝ランボー 原題＝First blood

First Blood は、直訳すると「最初の血」。「先に仕掛ける、先制する」という意味に使用されています。激しいアクションシーンが多いことから、このタイトルになっていると考えられます。

ほかにも、いくつか面白いのを Pick up してみました。

・邦題＝愛と青春の旅立ち 原題＝An officer and a gentleman

・邦題＝俺たちに明日はない 原題＝ボニーand クライド

・邦題＝半地下の家族 原題＝パラサイト

・カールじいさんの空とぶ家 原題＝Up

映画会社が興行成績をあげる為にいかに努力しているかがわかりとても楽しい!!!

(河野信子)

## 大河ドラマ「晴天を衝け」では見られない渋沢栄一



渋沢栄一は1840年(天保11)、現在の埼玉県深谷市血洗島で誕生した。そして、大政奉還、日清・日露戦争、第一次世界大戦の激動の中、日本経済の基盤を造った人物である。今回は栄一の代名詞の一つ「論語と算盤を実践した人」に焦点を当ててみる。少年時代には、父親市郎左衛門は豪農であったが、養蚕・藍商売に加えて漢詩・俳句を嗜む文化人であったので、栄一の6歳から論語を教えた。栄一の成長につれて親戚の尾高家、渋谷家に通わせ、更に論語・藍商売・剣術の指導を依頼する。

従って、栄一は少年時代に文(論語)・武・商売(算盤)の英才教育を受けて育つ。23歳の時、江戸に勉学の旅に出て、更に剣道と論語の勉強に没頭する。しかし、同時に「尊王攘夷思想」に浸り、幕府から危険人物指定を受け、身に危険が及ぶ。この時、友人の静岡藩士に勧められ静岡藩勤務を決心する。

ここで、「生涯の師」と仰ぐ徳川慶喜に出会う。この時、慶喜の勧めで弟昭武が団長のフランスの「パリ万博」視察団に随行する。栄一は「パリ万博」のみならず、フランスその他欧州各国を歴訪し、近代国家の仕組みをつぶさに視察する。最大の収穫はフランスで「サン・シモン主義」つまり、資本主義の仕組みを知ったことである。栄一はこれを「合本主義」と名付ける。29歳の時、欧州視察から帰国し静岡藩に戻り、早速「商法会所」を設立し「合本主義」を実践する。これが、「日本資本主義のスタート」と言われる。30歳の時、大蔵省の大隈重信に入省と「合本主義」の実践を要請され、「国立第一銀行」を民間資本で設立する。ここから、栄一は「合本主義」事業会社をあらゆる業界に設立し、「論語と算盤」思想、つまり、私欲ではなく「社会の為に」を第一義的に考えて運用するのである。栄一は生涯に日本で500社の会社を起業・設立に関わった。「日本経済の父」と言われる由縁である。

(榊原金市)

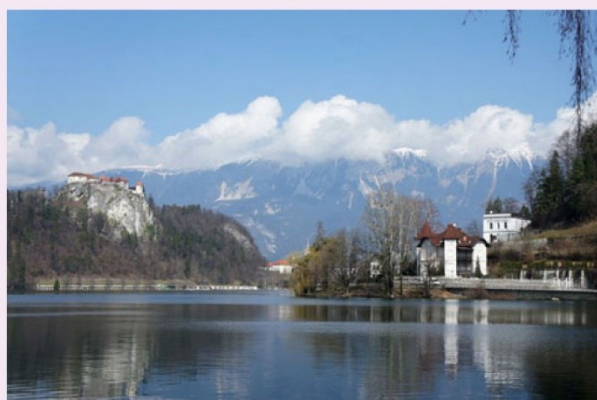
# みんなの広場

## バルカン半島の旅 (1)

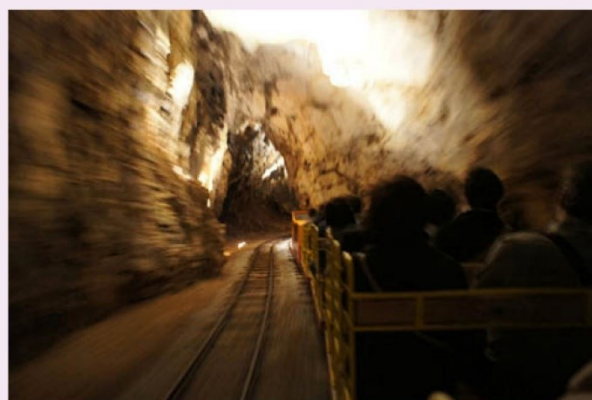
2012年春、スロベニア・クロアチア・ボスニアヘルツェゴビナ・モンテネグロなど、バルカン半島を旅行しました。イタリアからアドリア海をはさんで東側、ギリシャの北側がバルカン半島ですが、内戦が続いたいわくつきの地域です。私が行ったのは内戦が済んで11年目で、都市には弾痕がたくさん残るビル、村には真新しい墓石が並ぶ墓地と騒乱の爪痕が生々しく残っていました。(現在、観光客にとって危険はありません)



旅は、オーストリアのグラーツからバスでアルプスのトンネルを通過してスロベニアに入るところから始まりました。スロベニアとクロアチアは、工業化が進んだ豊かな地域です。(神戸 明)



1. スロベニア：ブレッド湖  
お伽話に出てきそうな景色、夢のような湖



2. スロベニア：ポストイナ鍾乳洞 (欧州最大)  
バック・トゥー・ザ フューチャーの世界



3. クロアチア：モトブン  
天空の村、トリュフが有名(買いました)



4. クロアチア：ポレチ  
古い教会のホールでアカペラを聴く(良い音でした)

バルカン半島は、1914年 オーストリア皇太子が撃たれる「サラエボ事件」が発生、第一次世界大戦の引き金となりました。その後も「ヨーロッパの火薬庫」と言われるほど不安定な地域でした。旧ユーゴスラビア連邦は 1943年の社会主義統一以降 1つの国家、2つの文字、3つの宗教、4つの言語、5つの民族、6つの共和国、7つの国境と表現されるほど国家の要件が入り組んでいました。現在は 6か国に分かれています。通貨はユーロですが、一部に独自通貨があります。

# 令和3年12月運営委員会報告(12月1日)

## 代表挨拶：報告および提案

今年もコロナ感染症で悩まされた1年でしたが、10月より緊急事態宣言が解除され、大学塾も活動が再開されることとなり、今年は12月の2講座を含め12講座(令和3年度としては8講座)が開催される見込みです。いずれの講座も多く受講者に参加いただき、区民の旺盛な学習意欲に感謝したいと思います。コロナ禍の中、講座の中止や延期を繰り返しながら講座を開催いただきました運営スタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。10月から感染者も激減しておりましたが、ここに来て新しいウイルス「オミクロン株」が国内でも確認され、また新たな心配となっております。残念ながら今年も忘年会、新年会は中止としました。中々皆さんとコミュニケーションを取る機会がなく残念です。

### 1. あだち区民大学塾講座について

11月は2講座企画されましたが、「印象派の絵画を楽しむ」の講座は講師の入院により中止となり、「わかりやすい遺産相続と後見制度」の講座のみとなりました。多くの受講申込があり、急遽会場を講堂に変更し開催しました。

12月には「教科書で教わらなかった宮沢賢治」と「歌舞伎入門講座 カブキの楽しさを見つけよう！」の2講座が開催されます。

### 2. 月例会について

11月の月例会は「足立区女性団体連合会の活動について」会長の片野和恵様から貴重なお話を伺いました。パワフルな活動振りに敬服し、大いにエネルギーをいただきました。

組織には組織の目的、貢献する意欲、情報の共有が重要なファクターであるとの話がありました。

我が身を振り返る貴重な講演会でした。

12月の月例会は新しく会員になられた河野信子さんと榊原金市さんの活動紹介です。

### 3. 足立区勤労福祉サービスセンターからの業務委託契約について

令和1年度に引き続き令和3年度も足立区勤労福祉サービスセンター「ゆう」からの講座委託があり11月に契約を締結しました。契約内容は令和1年度の契約と同様です。実施する講座は11月の大学塾講座「遺産相続と後見制度」と同内容で令和4年3月に開催します。

### 4. 大学塾講座のメール受付について

令和3年度の講座よりメールでの受付を開始し、直近では受講申込者の1/3から1/2がメールでの申込を頂いております。大きなトラブルもなく実施していることを報告します。

## 議 事

### (1) 情報交換

### (2) 月例会開催について

・12月15日(水)：「会員の活動紹介」 河野信子さん、榊原金市さん

### (3) あだち区民大学塾(検討会議・企画会議・地域協働講座)

「遺産相続」 応募者51名 小出康夫講師 11/19,26 1回 41名 2回 39名  
有料受講者43名

「宮沢賢治」 応募者35名 赤田秀子講師 12/2,9,16

「カブキ」 応募者34名 金田栄一講師 12/4,11,18

### (4) 委託事業について

・足立区勤労福祉サービスセンターより講座開催の要請あり →学習支援部 契約完了

・開催日：令和4年3月3日、4日

・テーマ：あだち区民大学塾の11月講座「遺産相続と後見制度」

### (5) 各部局・PTからの報告および提案

①学習支援部 12/15 部会、 施設への講座チラシ等の配布方法→新方式

②ボランティア活動推進部 12/7 部会、 12/15 月例会、

③事務局 ニュース発送 12/2・27。 12/7 部会、

④受託事業グループ 「ゆう」受託、契約完了

⑤広報グループ

### (6) その他

・「社会教育」12月号 ロッカーに

・会員募集 →講座開催の当日、開催前にパワーポイント等にて、会員募集の案内をする(受講者の了解の上)

次回運営委員会 1月7日(金) 14:30から(研4)

## 生涯学習センター 講座情報

### ◎ 講座名：知られざる江戸城のインテリア

日時：2月6日(日) 午前10時～11時30分  
対象：16歳以上の方 会場：5階 研修室1  
受講料：800円（一律、講座当日にお支払い）  
定員：45名（事前申込先着順）  
講師：小粥 祐子(おがい まさこ)氏  
（東京都公文書館専門員、博士（学術））  
内容：徳川幕府の将軍や御台所の儀礼の場であり、生活空間でもあった江戸城本丸御殿。そのインテリアはどのようなものだったのか？権威を示すために凝らされた工夫、将軍が替わるたびに「お好み」によって行われたリフォーム、道標の意味もあつた絵画や唐紙…。遺されている当時の図面や資料から本丸御殿の表・中奥・大奥のインテリアを浮かび上げらせ、そこに込められた意味について学ぶことのできる講座です。

### ◎ 講座名：シニアのためのスマホ活用術 スマート確定申告ってなあに？

日時：2月8日(火) 午後2時～午後3時  
対象：おおむね60歳以上の方  
会場：5階 研修室1 受講料：無料  
定員：20名（事前申込先着順）  
講師：ソフトバンク スマートフォンアドバイザー(ソフトバンク株)  
内容：毎年頭を悩まされる「確定申告」。実はスマートフォンで出来ちゃいます。スマートフォンの活用の1つとして、本講座では、オンライン確定申告の仕組みや手順を説明します。コロナ禍の今だからこそ是非利用したいですね！※操作の体験はありませんが、当日にご自身のスマートフォンでアプリ「マイナポータル（総務省）」をインストールできる方は、講座を聞きながら一緒に操作してみましょう。

お申し込みは、電話（03-5813-3730）又は直接窓口インターネット[近所 de まなびナビ]で検索イベント・講座情報→講座予約システム

#### 令和4年1月「月例会」のご案内

1月18日(火) 午後3時～5時 研修室4  
テーマ：「あだち区民大学塾の運営と  
運営マニュアル」説明会  
(マニュアルの説明と意見交換)

#### 令和4年2月「月例会」のご案内

2月15日(火) 午後3時～5時 研修室4  
テーマ：「災害時の協力体制について」と  
「学びピア 21 防災施設見学」

\*皆様の積極的な参加をお待ちしています。  
(ボランティア活動推進部)

## 楽学インフォメーション ★会合のお知らせ★

- ◎ 運営委員会  
1月7日(金) 午後2時半～4時 研修室4
- ◎ 月例会  
1月18日(火) 午後3時～5時 研修室4
- ◎ 学習支援部  
1月18日(火) 午後1時～2時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部  
1月11日(火) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 事務局  
1月 11日(火) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 広報グループ  
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議  
1月18日(火) 午後2時～3時 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議  
1月 7日(金) 午後1時半～2時半 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日  
12月29日(火)～4年1月3日(月)年末年始  
1月17日(月)

### ★お問い合わせ&ご意見等

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ  
事務局 江川武男 電話：090-3105-8140  
E-Mail：[takeo-wg@cj9-so-net.ne.jp](mailto:takeo-wg@cj9-so-net.ne.jp)
- ◎ 「ホームページ」に関するお問合せ  
<http://gakugaku.main.jp/>  
広報 G 神戸 明 電話：03-3606-0058  
E-Mail：[kambe.akira2@gmail.com](mailto:kambe.akira2@gmail.com)

### 編集後記

#### 「日本の民間人で宇宙へ 行くのは31年ぶり」

2019年の最強台風で甚大な災害に遭った故郷千葉県でボランティア活動や千葉県各市への寄付から、紺綬褒章を受章した実業家の前澤友作氏を乗せたロシアの宇宙船が、12月8日打ち上げ国際宇宙ステーション(ISS)にドッキング、一般より募集した“宇宙でやってほしいこと100”の企画を体験しSNSなどで発信。地球を90分で一周、12日間の宇宙の旅を行った。日本の民間人で宇宙へ行ったのは、元TBSの秋山豊寛氏以来31年ぶり。宇宙から見た地球は美しすぎて涙が出たと感動を語る。星空や宇宙の闇、宇宙船内での様々な体験は帰還後に地球環境に照らした暮らし方や環境保全活動などに活かして実践指導して頂けることを期待したい。

#### ー国際宇宙ステーション内で発生したごみー

無人の補給船は、食料や生活必需品、燃料、酸素、などの物資を国際宇宙ステーションに届けた後、梱包材、汚れた衣服、壊れた機器、宇宙飛行士の尿処理した容器なども含めたごみを満載して地球へ帰還、大気圏に突入させ燃やし尽くします。

#### ー宇宙船内で発生したごみー

食事の際などにでた包装材や容器等のゴミは、宇宙で捨てることが出来ないため地球へ持ち帰って分別され、資源ごみは再利用されます。(金子記)